

令和5年度 小諸市立小諸東中学校グランドデザイン

《学校教育目標》

- 【互いに人格を尊重し、ねばり強い実践力を持ち、主体的に行動できる人間を育成する】
- 1 互いの人格を尊重し、思いやりのある豊かな心を育てる
 - 2 創造力を働かせ、物事に積極的に取り組む意欲を育てる
 - 3 何事にもねばり強く取り組む、主体的な実践力を育てる
 - 4 生命の尊さを知り、進んで健康な体をつくる
 - 5 落ち着いて学習し基礎的な知識や技能を身につけ伸ばす

小諸市・梅花の香りプラン（抜粋）



- ・名前を呼ばれたら「はい」の返事
- ・はき物を「揃えて」気持ちよく
- ・大きな声で「おはよう」「こんにちは」
- ・「決まりを守り」誰もが安心
- ・過ちは素直に認め「ごめんなさい」
- ・「譲り合い」「助け合い」「ありがとう」

＜本年度の重点＞

- 1 生活力の向上（あいさつ・時間・清掃・歌声）
- 2 学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善）
- 3 人間力の向上（人間関係の構築 部活動の充実）

《授業づくり》

- ・子供たちが主体的に学び、仲間と共に解を導き出す学びとなる授業づくりの推進
- ・「主体的に取り組む姿」の具体化とその姿に迫るための手立ての明確化
- ・ICTの効果的な活用

《生徒会活動》

- ・学年を越えた協力と協調
- ・「自主」「自立」「自律」「主体的」な活動
- ・「誠実」な取組

《部活動》

- ・心身ともに健全な成長を目指す活動
- ・自己コントロールし、人権に配慮した言動

【願う生徒の姿】

○自分のことを大切にすること。自分のことを大切にすると同じように周りの人を大切にすること。主体的に人・もの・ことに関わり、自分の考えがもてる生徒

《生徒指導》

- ・生徒の「意思決定」「自己実現」を大切にした支援と指導
- ・家庭との綿密な連携を図り、生徒の健全な成長を促す支援と指導

《登校支援》

- ・校内登校支援チームによる全職員が共通理解した支援
- ・「居場所・生きがい・存在感」づくり支援
- ・外部機関との連携

《保護者・地域との連携》

- ・学校、学年だより、ICTを活用した情報発信及び共有
- ・信州CSの推進

《人権同和教育・道徳教育》

- ・自他ともに尊重し個性を認め合い、正義感や公正さを重んじる豊かな人間性を育てる。
- ・正しい知識を学び、人権意識の高揚を図り、人権課題を解決するための実践力を養う。
- ・全教育活動を通じて、道徳性を養うために、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

《教師の学び》

- 教職員の人権感覚を磨く。
 - ・職員研修 ・同僚、生徒との人間関係づくり
 - ・生徒・同僚・保護者に対する言動
 - ・誠実な職務の遂行（同僚性の構築と向上）
- 人権問題、同和問題の正しい理解につとめる。

《安心・安全な学校づくり》

- ・いじめを許さない学校
- ・保健衛生（感染症予防）
- ・交通安全
- ・危機管理意識の向上
- ・環境整備（校舎改修）

